

ご協力ありがとうございました。（学校評価アンケートより）

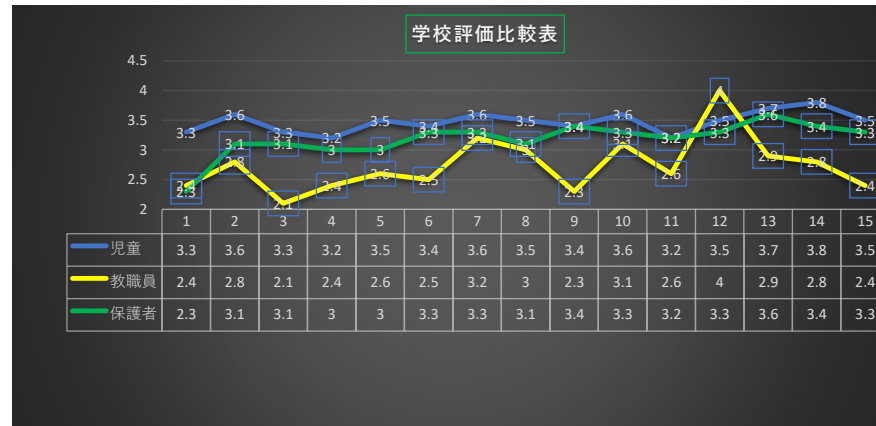
令和7年1月24日

子どもたちは自分の学校や家庭での生活を振り返って、保護者のみなさまにはお子さんの様子から、それぞれアンケートに答えていただきました。
教職員も同様に評価を行っていますので、同じ項目についての数値を比較して考察してみました。

古丹別小学校 児童・教職員・保護者学校評価 比較考察

		児童	教職員	保護者
確かな学力	1 学校や家での学習に、前向きに取り組んでいる。	3.3	2.4	2.3
	2 友達や先生に話したり聞いたりして、学び合うことができている。	3.6	2.8	3.1
	3 学校や家での学習では、できるだけ自分で考えて取り組もうとしている。	3.3	2.1	3.1
	4 学習道具や姿勢を整え、学習のきまりを守り、学習に取り組んでいる。	3.2	2.4	3
	5 学校や家での学習は、自分の生活や将来に役立っていると感じる。	3.5	2.6	3
豊かな心	6 友達や先生・地域の人に、進んで挨拶をしている。	3.4	2.5	3.3
	7 グループでの活動では、友達と話し合い、協力して取り組んでいる。	3.6	3.2	3.3
	8 自分が悪いことをしたときは、素直にあやまることができる。	3.5	3	3.1
	9 友達や周りの人の気持ちを考えて、発言や行動に気を付けている。	3.4	2.3	3.4
10 遊んだり、困ったときに相談したりできる人がいる。	3.6	3.1	3.3	
健やかな体	11 「早ね・早起き・朝ごはん」に心がけて生活している。	3.2	2.6	3.2
	12 ほとんど毎日、体育館や外で、自分から進んで運動をしている。	3.5	4	3.3
	13 うがいや手洗い、歯みがきを忘れずにしている。	3.7	2.9	3.6
	14 交通ルールを守り安全に注意し、登下校したり自転車に乗ったりしている。	3.8	2.8	3.4
	15 難しいことや苦しいことでも、あきらめずやりとげようとする。	3.5	2.4	3.3

■高い ■やや高い □平均値 ■やや低い ■低い



- 児童評価が高い項目 : ②⑤⑦⑧⑩⑫⑬⑭⑮ 低い項目: なし
- 教職員評価が高い項目: ⑫ 低い項目: ①③④⑨⑮
- 保護者評価が高い項目: ⑬ 低い項目: ①
- 児童評価と教職員評価の差の最大値 1.2 : ③
- 児童評価と保護者評価の差の最大値 1.1 : ①
- 教職員評価と保護者評価の差の最大値 1.1 : ⑨
- 各評価の最大値と最小値の差 児童0.6 教職員1.9 保護者1.3

考察

・全項目で児童・保護者評価は向上しているが、教職員評価はそこまでではない。また、教職員と保護者評価は、数値の差が最大で1.1と昨年度より開いているものが複数見られる。日常接している教職員が更なる向上を目指す意識で考えているのに対し、保護者からは様々な観点から子どもたちの成長を感じてくれていることと表れてはいないかと思われる。

- ・児童評価の数値差は昨年度より小さくなり、全てが高い評価となっている。児童は学校生活を全体として捉え、自己評価を高くもつことができていると判断できる。
- ・教職員の数値は差が大きい。教職員は項目ごとに捉える見方であることの現れではないかと考えられる。
- ・教職員、保護者ともに大きく高い項目と低い項目がある。高い項目は古丹別小学校の強みとしてさらに伸ばし、低い項目は共通の認識をもって改善を図ることが必要である。

こちらは保護者のみなさまにのみ答えていただいた内容になります。それぞれの数値について考察しています。

古丹別小学校 保護者学校評価(保護者のみの内容)

内容		1	2	3	4	合計	平均	肯定回答	否定回答
その他	1日平均で、学年×10+10分以上、家庭学習や宿題をしている。	4	8	4	4	48	2.4	40.0%	60.0%
	家や学校で1日に10分以上読書をしている。	2	9	1	8	55	2.75	45.0%	55.0%
	1日にテレビを見たりゲームをしたりする時間は3時間より少ない。	6	5	2	7	50	2.5	45.0%	55.0%
	学校での出来事などをよく話してくれる。	2	4	4	5	42	2.1	45.0%	30.0%
学校の取組	学校は、児童に生命を大切にすることや社会のルールを守るよう指導することに努めている。			10	10	70	3.5	100.0%	0.0%
	学校は、縦割り活動などを通して、お互いを思いやり、協力し合う態度が身につくよう、指導することに努めている。			12	8	68	3.4	100.0%	0.0%
	学校は、一人一人の児童に目を配り、問題が発生した場合は迅速かつ適切に対応している。	2	4	7	7	59	2.95	70.0%	30.0%
	学校は、児童一人一人に楽しく分かる学習ができるよう努めている。		3	13	4	61	3.05	85.0%	15.0%
	学校は、基礎・基本の確実な定着を図るため、家庭学習の習慣化を図る指導に努めている。		3	9	8	65	3.25	85.0%	15.0%
	学校は、図書室の整備や読み聞かせなど、読書活動の充実に向けた取組を行っている。	1	2	6	11	67	3.35	85.0%	15.0%
	学校は、児童が健康で安全な生活が送れるように、病気やけがの予防や交通安全などについて指導することに努めている。			8	12	72	3.6	100.0%	0.0%
	学校は、授業参観や各種行事など保護者や地域の方が参加しやすいように計画している。		2	5	13	71	3.55	90.0%	10.0%
	学校は、教育方針や教育活動、学校の出来事について懇談や各種便り・メール等で保護者にわかりやすく知らせている。		1	9	10	69	3.45	95.0%	5.0%
学校は、学習や健康、学校生活などの保護者の相談に耳を傾け、適切に対処している。		4	7	9	65	3.25	80.0%	20.0%	

■高い ■やや高い □平均値 ■やや低い ■低い

考察

・家庭学習に関しては、宿題と自主的な取組をした時間の合計と考えているが、小学校では全学年で同程度の宿題に要する時間のものと押さえているので、学年が上がるほど自主的な取組が必要となる。数値の低さはその自主的な取組（主体的に学習に取り組む態度）が低い水準にとどまっているためと考えられる。

・昨年度低かった読書の習慣については、改善傾向が観られた。学校でのボランティアの方の読み聞かせのように教職員だけでなく保護者に一緒に本を読む活動などを取り入れていただいた効果が出てきているものと捉えている。

・学校での出来事については、児童・保護者ともに忙しい日々の中で、なかなかゆっくり時間がとれないことも考えられるので、できる限りでお願いしたい。

・たくさんの項目で「やや高い」数値となっている。学校の教育活動へのご理解をいただけていると思われるが、一方で改善を図っていかなければならない項目も多数ある。今後も保護者や地域との対話を取り入れながら、児童の健やかな成長を促すために、教職員一丸となって取り組んでいきたい。

・特に児童間の交友関係上でのトラブルに関しては、それを未然に防ぐための予防的な指導を重視して進めていく。また、それだけにとどまらず、児童の思いをよく聞きながらそれぞれの児童の考えを理解し合うための貴重な機会と捉えている。トラブルを解決することが関係する児童の成長につながるように、保護者との連絡を密にしながら対応に当たっていききたい。

その他（記述式）

①卒業式でのスライドショーがなくなると聞き、残念に思います。理由もあまり納得できるものではなかったので、早くから話題にさせていただき、PTA役員会にはかるなど、丁寧に対応していただきたかったです。今後、大きな変更がある時は、よろしくお願いします。

②学級懇談で、今年度から卒業式の内容が一部変更になり時間短縮するとの事でしたが、他の学年の保護者の方も後々関わる事なので、きちんと早いうちに変更になることを知らせた方が良いと思います。

→①②連絡が遅くなってしまい申し訳ありません。ご意見を生かして、今後は早めにお伝えするようにしていきたいと思ひます。

アンケートの結果を生かして、今年度、そして次年度の改善に向けた手立てを考えていきます。ご協力ありがとうございました。